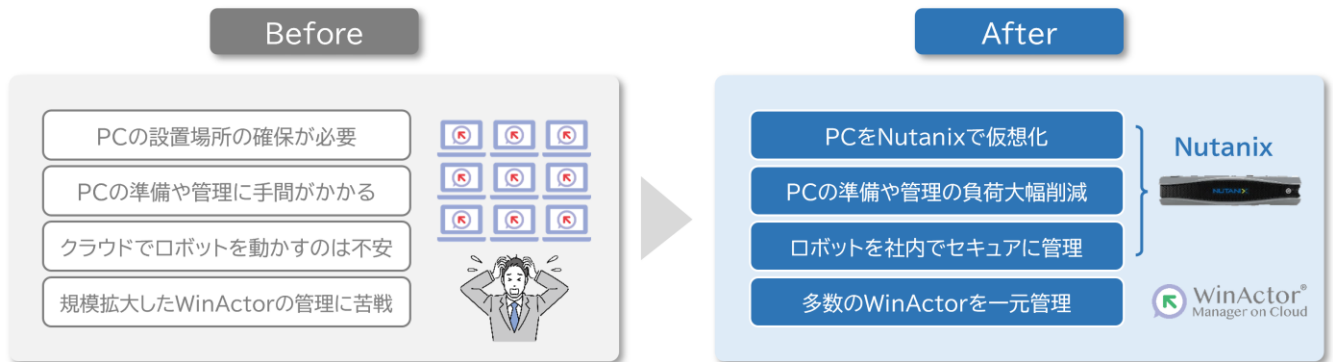


自らのDX 「Nutanix自社導入」

RPA管理の効率化 と 複数シナリオの効率的管理を 省スペースで実現



NTT-ATは、基幹システムのクラウド化をきっかけに、先進的なクラウドサービスの活用、システム間連携など、「自らのDX」を積極的に推進しています。その一環として、HCIであるNutanixを導入することで、PC運用・管理およびRPAツールWinActorの管理の効率化を図りました。



導入効果やNutanix選定ポイントなどの詳細は[こちら](#)からダウンロードしてご確認ください

導入のポイント

① WinActor動作PCをNutanixで仮想化、省スペース化とPC管理の効率化



最大150台運用していたWinActor動作PCを、Nutanixで仮想化することで、設置場所の確保が不要になりました。またNutanixは、Web上の管理画面から基盤や仮想PCの管理ができ、新規の仮想PCの手配も物理PCとは比較にならないほど簡単です。さらに、機器故障などのトラブルそのものも減り、運用性が大幅に向上しました。

「DX支援ソリューション Nutanix」の詳細はこちら <https://www.ntt-at.co.jp/product/dx-sol/nutanix/>

② WinActor Manager on CloudでWinActor運用をさらに効率化



Nutanixの導入により、WinActorの管理ツールWinActor Manager on Cloudが、非常に効率的に利用できるようになり、WinActorシナリオの効率的な管理運用が可能となりました。新たな基幹システムへの移行時も、WinActorシナリオを効率よく運用させ、短期間での移行に貢献しています。

③ マジックコネクトとの組み合わせにより、セキュアなテレワーク環境の構築も



WinActor動作PCをNutanixで仮想化するだけでなく、社内業務を行うVDI環境を構築しました。リモートアクセスサービスのマジックコネクトをあわせて利用することで、スムーズなリモートワークを開始し、新型コロナウイルスの感染拡大に対応することができました。

自らのDXをお客さまへ ~NTT-ATはNutanixのパートナーとして、お客さまと伴走します~

NTT-ATは、Nutanixの**リセラーパートナー**のエンロールドリセラーとして、WinActorは、世界初のNutanix Cloud Platform 対応RPAツールとして認定されています。NTT-ATは、Nutanix導入による、業務効率化をはじめ、データ活用の強化、CX/EXの向上、テレワーク推進など全社的なDX推進を推進しており、これらの取り組みから得たノウハウをもとに、お客さまのNutanix導入、仮想化基盤やWinActor運用の課題に対して**伴走型**でご支援します。



お問い合わせ

「DX支援ソリューション Nutanix」ページのフォームより、お申し込みください。

ホーム
ページ

<https://www.ntt-at.co.jp/product/dx-sol/nutanix/>



※記載された会社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。
※本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。※カタログ記載内容 2024年11月現在